

会見小だより

夢や目標に向かって 仲間と共に努力する 会見の子

令和6年11月6日

第8号

南部町立会見小学校

子どもたちが主役 ～主体的に学び、共感的に学び合う授業をめざして～

校長 生田 久枝

10月22日(火)の午後から、会見小学校を会場に南部町教職員研修会が行われました。南部町内の小中学校の教職員が一堂に会し、秋田県大館市教育研究所の米澤貴子所長による示範授業を通して、「子どもたちが主体的に学び、共感的に学び合う授業づくり」について研修しました。

今回授業を公開したのは、会見小の6年生です。体育館に机や椅子、ホワイトボードを運び、1組と2組合同で算数「比とその利用」の学習をしました。米澤先生とは、1週間前にリモートで顔合わせをしていましたが、実際に出会うのはこの日が初めて。4時間目に学びのオリエンテーションを行い、学習規律や学び合うことの意味などを確認し、5時間目の公開授業に臨みました。

6年生は、米澤先生に「間違えてもだいじょうぶ。」「わからない時は助け合おう。」と励まされながら、たくさんの参観者が囲む中で、自分の考えを発言し、友だちの考えを聴き、考えをつなげ、みんなで学び合おうとがんばっていました。

米澤先生は、よく「授業を通して人を育てる。」と言われます。私も同感です。知識や技能の習得だけではなく、友だちと関わり合い、学び合うことで、新たな見方・考え方が広がり、さらに学ぼうという意欲にもつながっていきます。

- 名前を呼ばれたら返事をする。
- 手を挙げるときは指先まで伸ばす。
- 相手に聞こえる声で話す。
- 相手の話を聞く。(理解しようと聴く)
- 「立つ」「座る」「前に出る」といった動作は素早く。

など、これらの規律も、社会生活において、とても大切なことだと思います。



「わからない」ところから学びが始まります。「指導」と言う名の先回りをして、子どもたちに答えを教えたり、失敗させないようにしたりすることは、子どもたちの成長の機会を奪うようなものです。私たち教師の役割は、子どもたちに簡単に答えを教えたり、子どもの発言を大人の言葉で言い換えたりするのではなく、主役である子どもたち同士が言葉をつないで学び合えるように応援することだと思います。間違えてもいい、失敗してもいい、チャレンジしようとする気持ちを大切にしていきたいと思っています。

人権教育参観日

10月11日(金)

社会や身近にある人権問題について学習を行いました。学年によっては、ゲストティーチャーを招いて学習に取り組み、人権課題について深く考えていました。授業公開後は、PTA 人権教育部主催で、Likemyself 代表の前田良さんを講師にお招きして講演会を行い、心に残るお話を聞くことができました。

参観日当日は、お忙しい中、多くの保護者の皆様にご来校いただきましてありがとうございました。

R6年度 学習発表会 「～みんなで 協力 最高の舞台!!～」

今年度の学習発表会は、大雨の中、多くの方々のご参観をいただき、ありがとうございました。どの学年も学習した成果を、心を込めて伝えることができたのではないかと思います。この学習発表会での経験が、これから子どもたち一人一人の確かな成長へつながってくれることを願っています。ご観覧いただいた皆様には、子どもたちのがんばる姿を温かく見守っていただき、ありがとうございました。心よりお礼申し上げます。



金管クラブ
会見小 金管 メドレー



1年 表現
サラダでげんき 2024



2年 劇
GO! GO! 25人!!
クック大魔王と大けっせん



3年 音楽
合唱「ハッピーソング」
合奏「ミッキーマウス・マーチ」 合唱「虹」



4年 劇
長者原に水を引く ～吉持家の戦い



5年 音楽
合奏「威風堂々」
合唱「地球へ」



6年 劇
歴史にドッキリ!! 2024

校内発表会、本番の発表会ともに
みんなよくがんばりました。

だんだんと寒くなってきて、インフルエンザの流行期を迎えようとしています。咳がでるときには、マスクを着用したり、普段から手洗い・うがいに心がけたりして予防しましょう。

